

公益社団法人日本農芸化学会中四国支部第7回(2024年)技術賞推薦の方法, および申請書の書き方について

本技術賞への応募は自薦、他薦を問いません。自薦の場合は、候補者（団体の場合はその代表者）のうち、支部の正会員である方が推薦者となって推薦書をお書きください。他薦の場合は支部を構成する会員の方が推薦者となって推薦書を作成ください。

【推薦者資格】

支部を構成する会員の方

【候補者資格】

中四国支部で開発されたその創造性と成果が特に顕著な農芸化学技術開発に主として携わった個人あるいは団体（4名まで）。候補者（少なくとも代表者1名）が中四国支部所属の正会員、あるいは候補者が所属する企業が中四国支部賛助企業であること。

【提出書類】

- 1) 支部技術賞調書：1部
- 2) 推薦書：1部
- 3) 添付書類：公開可能である主要な特許公報（3件以内）のコピー

【応募書類提出先および問い合わせ先】

〒790-85366 愛媛県松山市樽味3-5-7 愛媛大学大学院農学研究科内

日本農芸化学会中四国支部事務局 庶務幹事 阿野 嘉孝

Tel/Fax 089-946-9708

E-mail: chushikoku@jsbba.or.jp

【提出期限】

2023年12月25日 必着

【書類作成に関する注意事項】

年号は全て西暦で記入して下さい。書式の規定枚数を超えないようにして下さい。

(参考：公益社団法人日本農芸化学会中四国支部技術賞規定)

日本農芸化学会中四国支部技術賞

[目的] 中四国支部で開発された農芸化学技術のうち、その創造性と成果が特に顕著なものに対して授与する。

[対象] 上記の農芸化学技術開発に主として携わった個人あるいは団体（4名まで）とする。

[表彰] 表彰は表彰状の贈呈をもって行う。

[贈呈件数] 各回、原則として1件とする。

[推薦・選定の方法]

支部正会員は、支部大会が中四国支部単独で開催される前年の12月25日までに授賞候補者を支部長に推薦する。選考委員長（中四国支部長）が開催する幹事による選考委員会（必要に応じて専門家を加える）で授賞者を決定する。

[授賞] 授賞は中四国支部単独で開催される支部大会（2年に一度）で行う。

年 日本農芸化学会中四国支部技術賞調書

年 月 日

①	業績目					
②	フリガナ氏名 生年月日	勤務先			役職	
		住所	〒			
	連絡先	TEL :	FAX :	E-mail :		
	最終学歴	校名 : 卒業年 :	学位 (取得年)		本会会員 (該当に○)	正会員 非会員
	職歴					
③	フリガナ氏名 生年月日	勤務先			役職	
		住所	〒			
	連絡先	TEL :	FAX :	E-mail :		
	最終学歴	校名 : 卒業年 :	学位 (取得年)		本会会員 (該当に○)	正会員 非会員
	フリガナ氏名 生年月日	勤務先			役職	
		住所	〒			
	連絡先	TEL :	FAX :	E-mail :		
	最終学歴	校名 : 卒業年 :	学位 (取得年)		本会会員 (該当に○)	正会員 非会員
	フリガナ氏名 生年月日	勤務先			役職	
		住所	〒			
連絡先	TEL :	FAX :	E-mail :			
最終学歴	校名 : 卒業年 :	学位 (取得年)		本会会員 (該当に○)	正会員 非会員	
④	他学協会の受賞歴	学協会名 : 賞または表彰の名称 :		受賞年月日 :		
⑤	勤務先機関の承諾	名称 : 所在地 : 〒		代表者 :		印

⑥業績の概要（1頁以内でわかりやすく記載）

1. 技術の目標と着手の背景

2. 技術の特徴

3. 技術の独創性・新規性

4. 技術の将来性・成長性

5. 社会への貢献（産業化、製品化の具体例を極力数値で表現）

⑦業績に関連する主要論文・特許
(主体となる論文・特許番号に○を付し、別刷またはコピーを添付)

1. 主要論文 (著者名、論文題目、巻、号、頁、年を明記)

2. 特許

⑧補足図表等

日本農芸化学会中四国支部技術賞候補者推薦書

20 年 月 日

推 薦 者	所 属 :	氏 名 :	印
連 絡 先	TEL :	FAX :	
	E-mail :		

候 補 者 (4名まで連名 可能です)	(代表者) 氏 名 : 所 属 : (共同研究開発者) 氏 名 : 所 属 : 氏 名 : 所 属 : 氏 名 : 所 属 :	役職名 : 生年月日 : 役職名 : 生年月日 : 役職名 : 生年月日 : 役職名 : 生年月日 :	
受賞対象となる 研究課題			
推 薦 理 由			